

最新情報をチェックしよう

図書館ホームページ&Twitter

ホームページやTwitterで、図書館の最新情報を提供しています。
休館情報やイベント情報・サービスのご案内といった各種お知らせをアップしますので、ぜひ、フォロー＆チェックをしてみてください!



図書館ホームページ
<https://www.lib.osaka-kyoiku.ac.jp/>



図書館Twitter
@OKU_lib



図書館の資料を検索できる!

Ufinity アプリを手に入れよう

スマートフォンで図書館にある本や雑誌を探すなら、専用アプリのUfinityが便利です。
初期設定画面で、機関を【大阪教育大学】に設定するだけで、本学専用のアプリを使用することができます。
返却期限日の確認や貸出延長などの便利な機能も使えます。
下記QRコードからダウンロードして、活用してくださいね。

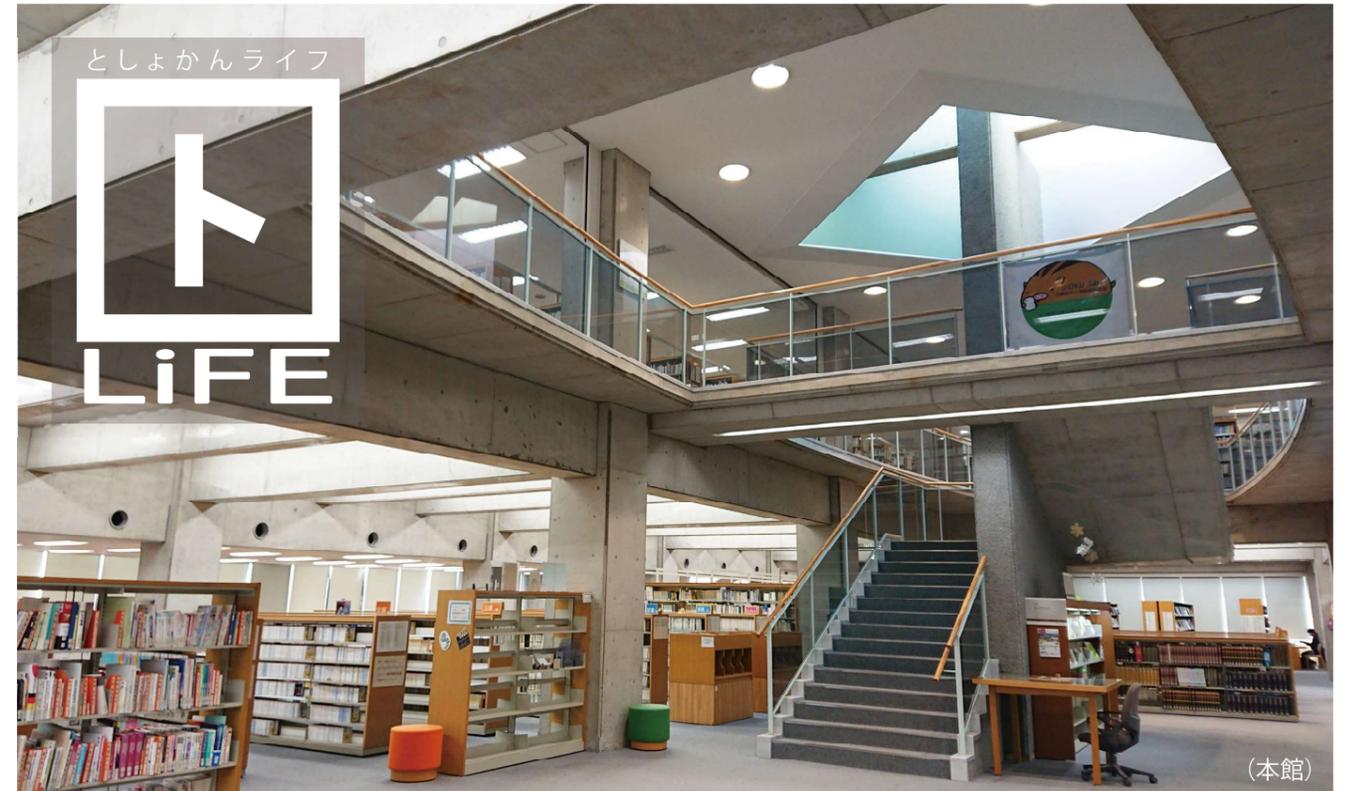


館内見学ツアー・講習会

資料の検索方法・調査で、お困りのことはありませんか。
資料の探し方や館内施設の利用方法などを図書館の職員がご案内します。
お申し込みは、各館カウンターにて受け付けていますので、
ツアーや講習会に参加し、充実した大学生活を送りましょう!
ツアー動画や資料なども公開しています。こちらもご活用ください。



カウンターでは随時質問を受け付けています。
資料の探し方や施設の使い方など、わからないことがあればお気軽にお尋ねください。



(本館)

開館時間

※ サービス状況が変更になる場合もあります。最新情報は図書館ホームページやTwitterにてご確認ください。

本館(柏原キャンパス)開館時間		
	月～金	土
授業期間中	8:35～20:45	10:00～17:00
授業期間外	8:45～17:00	休館

授業期間中、書庫・地階ラウンジ出入口は閉館1時間前に施錠します。

分館(天王寺キャンパス)開館時間		
	月～金	土
授業期間中	10:00～21:30	13:00～21:30
授業期間外	10:30～19:00	休館

休館日

日曜日・国民の祝日・授業期間外の土曜日・館内整理日・年末年始・臨時の休館日(気象警報発令による休講等)

利用にあたって

- ・入館には学生証が必要です。
- ・荷物や貴重品等を置いたままにして席を離れないでください。
- ・館内での食事は禁止です。飲み物はフタの閉まる容器に入ったもののみ利用できます。
- ・盗難や迷惑行為の被害に遭ったり、見かけたりした場合は職員までお知らせください。

貸出・延長(更新)

	貸出期間	
	学部生	大学院生
和図書・多読本	2週間	1ヶ月
洋図書	1ヶ月	
教科書	1週間	
参考図書・雑誌	当日	
視聴覚資料	館内利用のみ	

本館・分館両方の図書や雑誌など、あわせて10冊まで借りることができます。
手続きはカウンター、もしくは自動貸出装置で行います。
予約がない場合のみ、1度だけ貸出期限を延長できます。
延長したい資料と学生証をカウンターにお持ちください。
ホームページやUfinityアプリの「利用状況照会」からも延長の手続きができます。

返却

手続きはカウンターで行います。閉館時は返却ポストをご利用ください。
ただし、付属資料(CD-ROM)がある場合は返却ポストを使わず、カウンターに返却してください。
※ 必ず期限内に返却してください。延滞すると貸出などのサービスが受けられなくなります。

柏原本館 (D棟)

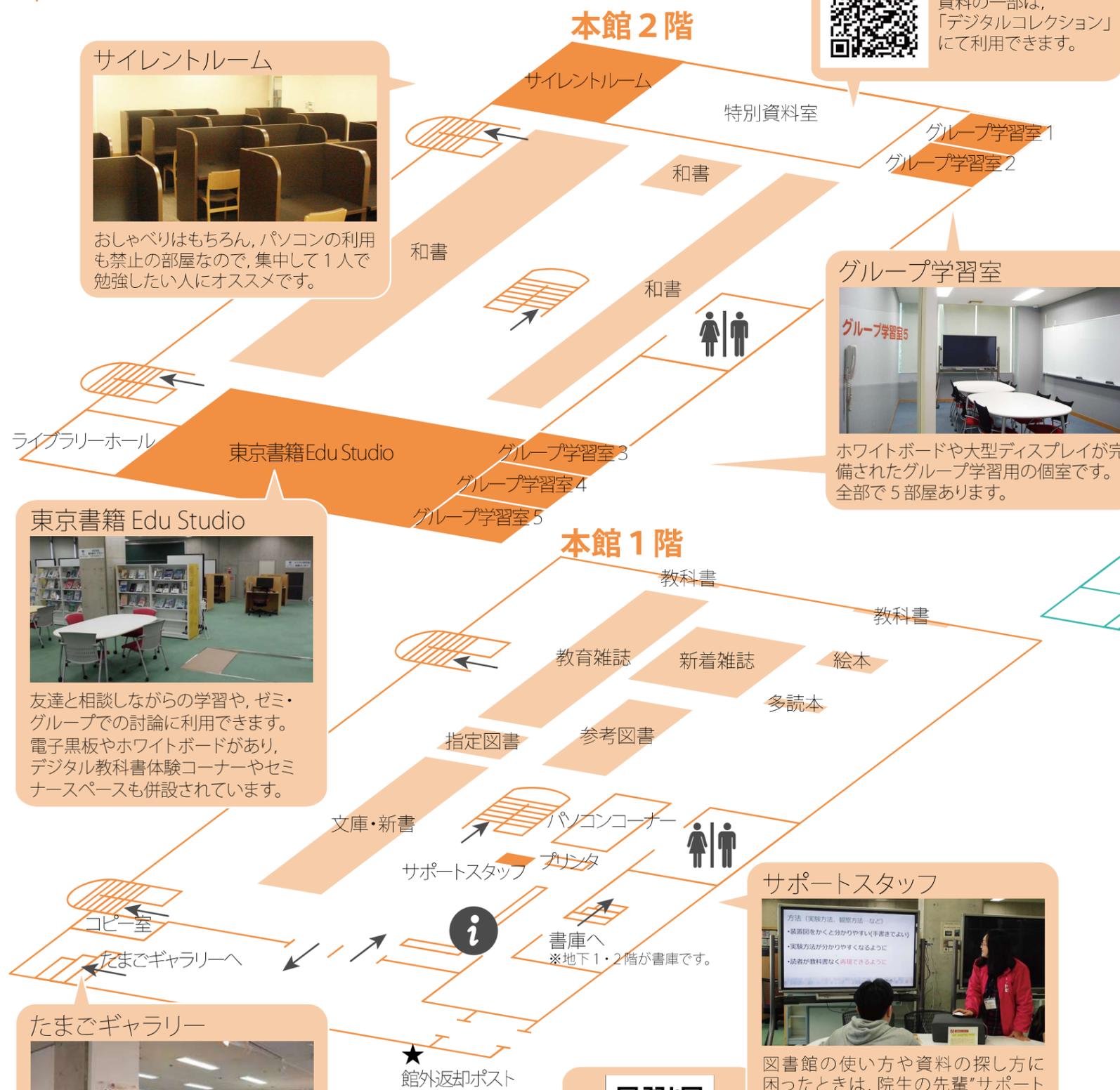
TEL:072-978-3782

E-mail:lib-service@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

天王寺分館 (東館 2階)

TEL:06-6775-6649

E-mail:lib-bunkan@bur.osaka-kyoiku.ac.jp



サイレントルーム

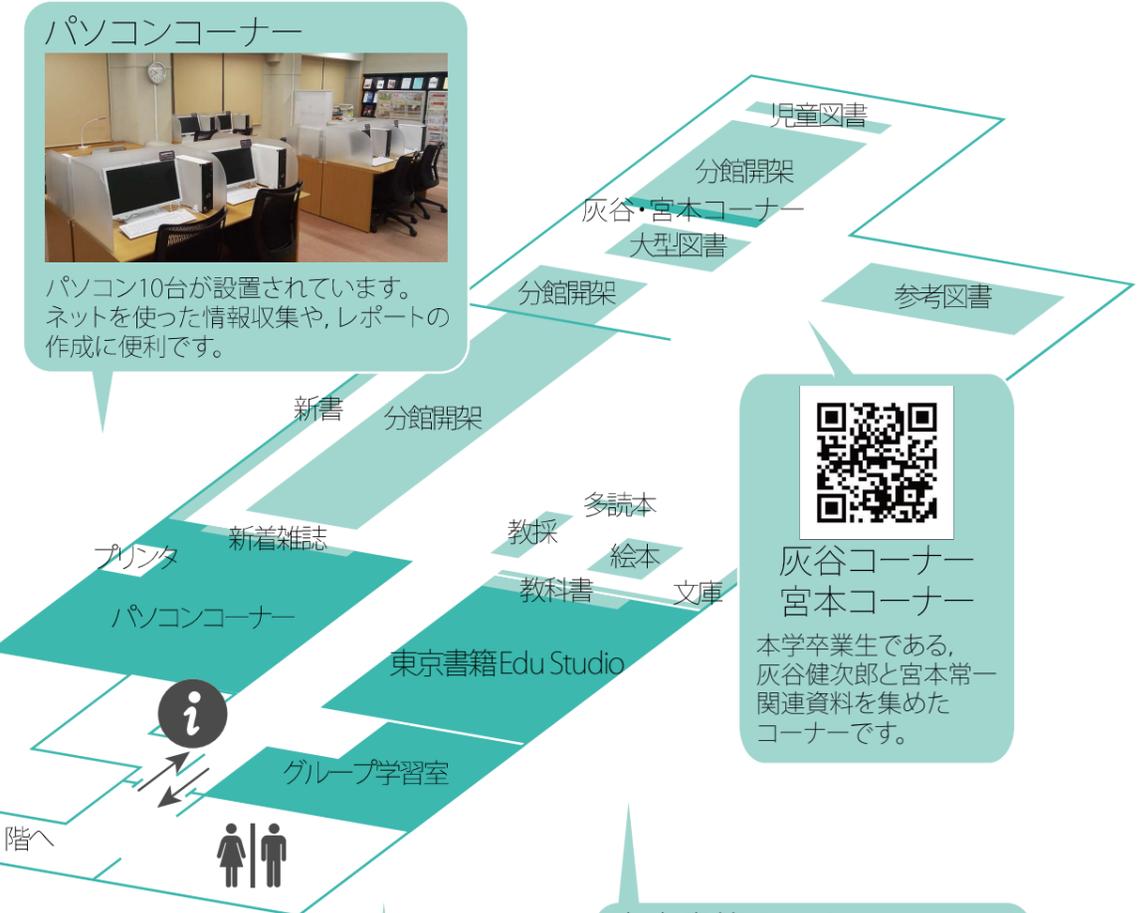
おしゃべりはもちろん、パソコンの利用も禁止の部屋なので、集中して1人で勉強したい人にオススメです。

東京書籍 Edu Studio

友達と相談しながらの学習や、ゼミ・グループでの討論に利用できます。電子黒板やホワイトボードがあり、デジタル教科書体験コーナーやセミナースペースも併設されています。

たまごギャラリー

ゼミやサークルの作品を展示できる場所です。展示会会場として、ご利用ください。



グループ学習室

グループ学習用の個室です。プロジェクターを使用した映像視聴も可能です。

東京書籍 Edu Studio

教科書コーナーやホワイトボードがあります。ディスカッションや模擬授業などに利用できます。デジタル教科書体験コーナーも設置されています。

どちらも使える 2つの図書館

図書館は柏原・天王寺それぞれのキャンパスにあり、どちらの資料・施設も同じように使えます。別の館にある資料は、無料で取り寄せることもできます。借りた資料はどちらの館に返しても構わないので、自分のライフスタイルや通学経路に合わせて使い分けてください。

